

児童生徒へ 毎日の連絡



こんな場面におすすめ

やるべきことが増える高学年、紙に書く習慣が身に付いた学年は、児童の休み時間確保のため翌日の連絡をデジタル化したい。

北区立第四岩淵小学校
須賀謙介 教諭

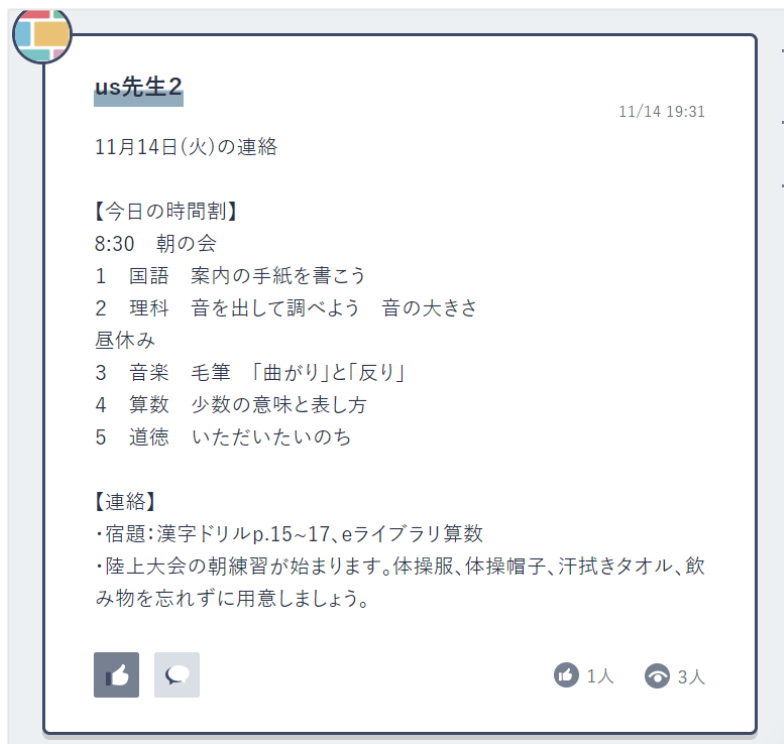


▶▶▶ 翌日の連絡を黒板ではなくまなびポケット上で連絡

活用方法

- 1 教職員は、翌日の連絡事項を学級の「クラスチャンネル」の「メッセージ」に入力し、投稿します。
- 2 児童は送られた連絡事項を「クラスチャンネル」から確認できます。
(a)

a 児童確認画面



画面は取材内容をもとにしたイメージです

先生こだわりポイント

連絡の板書を書き写すのに時間がかかる児童は、大切な休み時間が削られることがありましたが、現在は児童の大切な時間を守ることができています。

児童・生徒の様子

今まで連絡を書き写していた時間を他の時間に有効活用できるようになり、書き忘れによる忘れ物も少なくなりました。

マニュアルはこちら ▶▶▶

[まなびポケット操作マニュアル](#) …… 項番4.2番

